

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス アミティエ光星		
○保護者評価実施期間	R7年 12月 1日		～ R7年 12月 26日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)		(回答者数)
○従業者評価実施期間	R7年 12月 1日		～ R7年 12月 26日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	R8年 1月 23日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	小学生～高校生までが同じ空間で過ごし、こどもが安心感をもって楽しく利用できている。	こども1人1人の特性に合わせた関わりや、季節に応じたイベントなど継続することで、安心して楽しく過ごせる場となっている。	これまでのイベントに変化を加えたり、他事業所との合同企画を検討したりすることで、新鮮な活動を提供できるように取り組んでいく。
2	保護者と職員で情報共有を密に行うことができる。	電話やSNS、お便り等で保護者に細やかな連絡を取り合うことで情報共有が図れている。また、Instagram等で利用の様子を発信することで、保護者に目を通してもらえる機会が増えている。	こどもや保護者にあわせて、きめ細やかな関わりと情報共有を行うことで、信頼構築の深化を図っていく。
3	遊びと学習のメリハリをもった活動の促しができている。	活動と学習にルールを設けることで、こどもが行動を選択して時間の見通しをもてるような、利用を促している。	遊びと学習が両立できるよう関わりをするとともに、利用満足度の充実を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもとの活動ができていない。	他事業所との接点が少なく、職員の体制やリスク管理を加味しても他の地域のこどもと関わる機会が少ない。	他事業所との合同イベントを企画し、他デイサービスを利用しているこどもと関わる催しを開催し、交流の機会を作っていく。
2	事業所の設備等が障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているかわからない。	玄関の外階段や建物内の階段など、建築の構造上、バリアフリーにできない箇所がある。	こどもの年齢や特性にあわせて、階段昇降時など職員の見守りや声掛けを行い、安全に移動できるよう配慮を徹底する。
3	利用するこどもの年齢層が幅広く、支援の難易度が上がりやすい。	個々で希望する活動内容が異なり、年齢や特性に応じた声かけの工夫や調整が難しくなりやすい。	こどもとの信頼の構築を図り、個別対応や集団活動を柔軟に切り替えながら、楽しく過ごせる雰囲気作りを行う。